嵩山小学校のESD活動

＜活動の概要＞

- 「**未来にはばたく嵩山学**」を活動テーマとして、地域と連携し、特色ある教育活動を推進することをＥＳＤと捉え、ＥＳＤの実践を通して、ふるさとを大切に思う心と未来を生き抜く力を育成することを目標とした。
- 具体的には、自然、食、生活環境を柱に、**①地域の自然にかかわる学習、②食農にかかわる学習、③地域の生活環境にかかわる学習**を行った。

・活動の実際

① 地域の自然にかかわる学習（４年生）

総合的な学習「守ろうホタルの里嵩山」を中心に、地域の自然環境を守ろうとする態度の育成をねらい、ホタルの幼虫の飼育・放流、ホタルやその餌であるカワニナがすむ嵩山川の環境調査・保全活動を行った。今年度は、約１３００匹の幼虫を、全校で嵩山川に放流した。学習発表会では、ホタルの舞う嵩山を未来に残そうというテーマで発表し、地域の自然環境を大切にする気持ちを高めた。

［飼育してきたホタルの幼虫の放流］

②食農にかかわる学習（５年生，全校児童）

総合的な学習「Let's try ５年生米」では、郷土や農業に携わる人々に対する理解を深めることをねらいとして、地域の農業ボランティアの方々の指導を受けながら、一連の伝統的な稲作作業の体験や調べ学習を行った。１２月には地域の方々や保護者の協力を得て、お米を食べる会を開いた。また、全校の縦割り班（だるま班）でサツマイモを育てたり、学年でジャガイモを育てたりした。これらを通して、「食」への感謝の気持ちを高めながら、私たちの食を支える農業が担う価値について学ぶことができた。

［地域の方々の指導のもと、
脱穀機を使っての脱穀作業］

③地域の生活環境にかかわる学習（６年生）

総合的な学習「未来につなげよう嵩山の町宝」では、自分たちが生活する地域への関心を深め、地域の歴史や伝統文化について理解を深めることをねらいとしている。今年度は、社会科の歴史の学習と絡めて、姫街道や大念仏についての調べ学習を行った。また、専門家から話を聞きながら、実際に姫街道を歩いたり、大念仏に使われる道具にふれたりもした。戦国時代の学習では、地域の豪族である三河西郷氏の政治について調べ、織田信長や豊臣秀吉の政策と比較して考えながら理解を深めることができた。

［大念仏の体験活動］